

From 5 5つのセクションから

【NPO法人ぱれっと <http://www.npo-palette.or.jp/>】

たまり場ぱれっと

<http://www.npo-palette.or.jp/tamariba/>

～即興劇の ワークショップ報告～

1月15日(日)に、即興劇集団「インプロモーティブ」の皆さんをお呼びして、台本なし、打ち合わせなしで行なう「即興劇」のワークショップを行ないました。「好きな名作を演じよう」というお題をチームごとに発表した際には、「冬のソナタ」「太陽にほえろ」の他、「寿司ネタ」や「メリーゴーランド」というテーマまであり、予想外な皆の発想や動きに終始大爆笑でした。以下、インプロモーティブの代表、大浦さやかさんの感想です。『最初は、難しいゲームは出来ないかしら?どのように接したらいいかしら?と少し不安でしたが、皆さんが仲良くしたい、という気持ちでどんどん話しかけてきてくれ、素直な屈託ない優しい気持ちに迎えられ私の不安も吹き飛びました。ワークショップでは、発想が豊かでの即興劇も素晴らしかったです。皆さんの素敵な部分が沢山感じられ、素晴らしい能力を持っているなと思いました。最後に「感想を聞かせて」と言った時すぐに手を上げてくれたり、「お礼のクッキーを渡したい」と沢山の人が前に出てきてくれました。ありがとうございます沢山伝わってきました。

コミュニケーションに関しては健常者と言われる人の方が不得手な方も多んじゃないかと思ってしまいます。頭で考えすぎてしまったり、自分の殻から出られなかったりカッコつけて協力できなかったり素直に表現できなかったり…。素直に気持ちを表現するってとっても素敵なことです。沢山の学びも頂いた時間になりました。(そうき)



【殺人現場から犯人が逃走!】

おかし屋ぱれっと

<http://www.okashiya-palette.or.jp/>

～新商品で仕事の活性化～

昨年の9月から、すこーんの販売を開始して半年近くになります。お陰様で販売先でも、とても好調で店頭にもすこーん目当てで来店されるお客様もいらっしゃいます。製造を担当しているメンバーの田代さんも今ではすこーんの製造にすっかり慣れて、計量から型抜きまで、一人でこなせるまでになりました。そして、更なる販売強化の為に新しい味のすこーんの試作を重ねています。チーズやココア、野菜を使ったすこーんなど色々な食材を使い商品開発に励んでいます。試作品の中には商品になりそうな美味しいすこーんも出来ました。そして商品が増えると、それに伴う作業が増えて、メンバーの仕事の活性化にもつながります。新商品に是非ご期待ください。(まえかわ)

スリランカ料理&BEER Palette
<http://www.r-palette.com/>

～ スリランカ人 ～

昨年3月に起きた東日本大震災の爪痕は今もなお、日本各地に様々な形で残っています。まもなく一年が経とうとしていますが、決して風化させることなく、再生への取り組みを続けていこうと思います。そんな中、震災直後から炊き出しや片付けなどで幾度となく現地入りしている在日スリランカ人のお話を聞く機会がありました。彼らはその取り組みについて、「スマトラ沖地震でスリランカが被害を受けた時、いち早く手を差し伸べてくれたのは日本人だった。今度は私たちがその恩返しをしたい」と口を揃えます。地球規模で広がる「国境なき支援の輪」。私たちも日本人であると同時に、地球人としてもう一度その果たすべき役割を考えたいと思います。(みなみやま)

えびす・ぱれっとホーム
 ～法人ホームページ内にて公開中～

～ 再開の喜び ～

以前ホームと交流のあった劇団、「東京セレソンドラックス」の舞台公演を入居者の林さんと職員の伊藤で観劇に行きました。劇団の方とお会いするのは1年半振りでしたが、開場すると俳優さんが林さんに気づき「久しぶり！観に来てくれてありがとう！」と覚えていてくれて再会を果たしました。お芝居は6つの短編だったので、林さんにとってわかりやすい内容だったようで声を出して笑って楽しんでいました。終演後、ご挨拶に楽屋におじゃまするといふ貴重な体験もしました。「また観に行きたいな。」と林さん。「東京セレソンドラックス」の舞台にまた行けたらいいねと話しながら帰路につきました。少しずついろいろな経験をしている林さんの休日でした。(いとう)

ぱれっとインターナショナル・ジャパン
 ～法人ホームページ内にて公開中～

～ぱれっとの本が海外へ～

ぱれっとの写真絵本ができ上がりました！プロの方々の協力の下に、1年余りをかけて作ったビジュアルブック、みんなの表情からありのままの生活が見えてきます。アメリカ、スリランカ、マレーシア、インド、韓国など沢山の海外の友達に、ぱれっとや街での元気な仲間の姿を見ていただくとうと、英訳文もつけました。「遊び」「働き」「暮らし」を通して、人と人のつながりが伝わってくる「あなたとわたし わたしとあなた ―知的障害者からのメッセージ― You and me, Me and you A message from someone with on intellectual disability」には、障害の有無に関係のない世界が広がっています。国を超えた輪が大きくなることを願って、この本を海外の友だちにも送ります。(たにぐち)